

千葉県婦性会だより

平成 23 年 9 月 1 日

# ふくでん

題字：理事長 橋本 照稔

更生保護法人 千葉県婦性会

千葉県千葉市若葉区貝塚町 27 番地 tel 043-231-1610 fax 043-231-1621  
http://www.chibaken-kiseikai.org E-mail kiseikai@abeam.ocn.ne.jp

## 婦性会の充実を願う

千葉県保護観察所

所長

関 口 裕



千葉県婦性会におかれましては、橋本理事長を始めとする役職員の皆様が一丸となって、保護観察対象者や更生緊急保護対象者の更生に御尽力され、大きな成果を上げておられるのでありまして、皆様の平素の御労苦に対し深く敬意を表しますとともに、衷心より御礼申し上げます。

さて、更生保護制度も犯罪情勢の変化やそれに伴う国民の意識の変化により、その役割と任務が徐々に変遷し拡大して来ているように思います。特に経済や雇用情勢の悪化が続く中、自立更生が困難な刑務所出所者等が増加していることにかんがみ、法務省は、彼らの「生活基盤の確立」が急務の課題として、各種の「社会復帰支援策」を打ち出しています。その一

つに、社会内で出所者を受け入れる場所（住居地）の確保及び拡大の問題があります。社会内で出所者を受け入れる公的機関・団体としては、従前から更生保護法人（更生保護施設）が全国に存在しますが、各施設側の諸事情もあって、収容率の全国平均は約 76.5%に止まっており、国全体としては必ずしも出所者を受け入れる体制として十分とは言えない現状です。しかしながら、千葉県婦性会においては、昨年度の収容率 108.1%という極めて高い収容実績を上げておられ、保護された実人員は 140 人。延べにしますと約 8,000 人となり、同規模の他施設と比較して全国水準を大きく上回っています。このような成果を上げていく理由として考えられますことは、婦性会を運営されている役員体制に団結力と指導力があり、物心両面にわたり支援してくださる多くの理解者と協力者を得ていること。そして、施設職員の方々強い使命感と熱意をもって日々在所者の処遇に当たられていること等が大きく影響していると思います。

今後とも保護観察所と一体となって、彼らの更生と地域の安全を目的とする

更生保護活動に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、千葉県婦性会のみならずの御発展を心から祈念申し上げます。



『ふくでん』とは千葉県婦性会が過去「千葉福田院」と称したことに因み、名づけたものである。

「福田」とは佛教語で「善い行いの種子を蒔いて、福德の収穫を得る田畑」との意味である。

題字を書いて戴いた成田山新勝寺貫首であり千葉県婦性会理事長でもある橋本照稔氏に、この広報誌を「ふくでん」と名付けていただきました。